



採れたての野菜・自家製の漬物が人気

今年も早来あぐり倶楽部が主催する安平町農家直売所はやこい市が6月2日からそば哲駐車場（東早来）で始まりました。

今年は、採れたての野菜や牛肉の他に自家製のラディッシュや大根などの漬物が人気を呼んでいます。初日となったこの日は、町内外から大勢の方が詰めかけ、予定時間より早めにオープン。アスパラガスやいちご、山菜などお目当ての物を買求めるお客さんで賑わいました。

昔の遊びで交流

地域のお年寄りを招き、交流を深めながら、昔のことを知ろうと、5月30日、遠浅小学校でふれあい交流会が開催されました。

参加した11名のお年寄りの子どもころのお話を聞いたり、お手玉やあやとり、コマ、メンコ等の昔の遊びを体験し、楽しい時間を過ごしました。



色とりどりの花を植える

「JR早来駅前国道234号を緑化を通じて地域にふさわしい道づくりを進めよう」と昨年からの活動しているビューティーサポートR234が今年も行なわれています。

今年度最初の活動となる5月29日に、花壇の草取りや耕起など花の植栽の準備が行われ、6月14日には70名が参加しマリーゴールド、サルビア、ペコニアなどおよそ2,600株を植え、色とりどりの花が歩行者や運転手などの目を楽しませています。

記念民謡発表会盛大に

清志民謡会創立15周年・畠山桂星師民謡歴40周年を記念した民謡発表大会が5月27日に早来町民センターで開催されました。

ソーラン節や江差追分などの民謡や舞踊などが披露されたほか、清志民謡会少年少女民謡クラブの三味線合奏や太鼓による津軽じょんがら節が披露され、会場からは大きな拍手が贈られていました。また、この発表会はチャリティーで行われ、その収益金は社会福祉基金として安平町社会福祉協議会へ贈られました。

